

平成29年度第3回こどもプロジェクト

開催日時：平成29年12月5日（火）10：00～

開催場所：広陵町総合保健福祉会館さわやかホール4階中会議室

出席者 大和高田市：金森さん、綾井さん
香芝市：片岡さん、岡野さん、西村さん
葛城市：田中さん、江口さん、西川さん、大同さん
西和養護学校：横澤さん
もちつもたれつ：東さん
しえ〜く：吉田さん
広陵町：西田、佐々木

1 児童用サポートブックの必要性について

10月13日開催の「第1回発達障害者支援機関連絡会議」に参加したメンバーから、テーマのひとつであった、「たけまるノートの作成から運用まで」の感想を発表してもらった。

- 病院側の意見として、生育歴や過去の情報があれば助かる。
- サポートブックの認知度が低い。
- サポートブックの対象者をはっきりと定めないと運用が難しいのでは。
(発達障害に特化したものか、障害のあるなしにかかわらず利用できるものなのか)
- 教育機関との連携の難しい。
- 学校の個別教育支援計画はようやく動き出したところ。計画の公開は保護者の許可を得て行う。学校からサービス事業所へ、どこまでの範囲で情報提供するのか考慮必要。
- 保護者に情報提供の同意を得て利用するものだから、保護者が提供先から得た情報の利用は問題ないはずなのだが、情報がオープンになると判ると、情報提供に難色を示す場合がある。
- 情報が保護者の目に入るため、実際に連携したい情報が書けない場合もなる。
(例えば、保護者のことや家庭環境の問題点など)
- 葛城市で平成30年度にサポートブックを作成する予定。

2 児童支援に関する事例の検討について

- 香芝市では、一つの学校をモデルケースとして、学校と事業所間の連携方法を検討している。→取り組みに関して、次回に発表していただく。
- 不登校児童が放課後デイサービスを利用することについて、どう判断しているのか。また、学号保育と放課後デイサービスの併用はどう考えているのか。(併給を認めてい

ない市町村もある。) →各市町での考え方を次回に報告。

3 その他

今回、発表いただけなかった事例については、次回に発表していただく予定。

次回開催日 平成30年2月20日(火) 10:00～

広陵町総合保健福祉会館さわやかホール4階中会議室